

## 指定管理者管理運営状況評価

評価対象施設	さいたま文学館
指定管理者	公益財団法人けやき文化財団
評価対象年度	平成30年度
施設所管課	文化資源課

評価項目	細項目	評価	コメント
利用者の 安心・安全、 平等利用の 確保	安全性の確保	A	適切な事故防止対策等がされており、安全性は確保されていた。
	法令等の遵守	A	法令等の遵守について、適切に処理されていた。
	平等利用の確保	A	適切に処理しており、平等利用は確保されていた。
施設の設置 目的の達成	事業の実施	A	施設の稼働率が目標を上回った。 (目標)60%以上 (実績)66.9%
	利用状況	A	利用者数が目標を上回った。 (目標)76,000人 (実績)77,053人
	適切な管理の 履行	A	協定書や事業計画に沿った適切な管理が履行されていた。
	文学資料の適切な 管理・展示	A	燻蒸消毒を行い、中性紙の箱で保存するなど文学資料の劣化防止に努めている。
	財産の適切な 管理	A	適切な財産管理がなされていた。
利用者サービス の向上	サービス内容の向上	A	利用者の意見を参考に手摺を設置したり、複数の施設・イベント参加を促す「文学館MISSIONカード」を配布するなどサービス向上に努めた。
	利用者の満足度	A	施設に対する満足度が、職員対応、施設双方とも目標に達した。 (目標)職員対応85%以上 (実績)95.0%(H29 93.0%) (目標)施設自体85%以上 (実績)95.5%(H29 85.1%)
総合評価		A	適切な管理・運営がなされており、概ね良好である。

特記事項	特に評価すべき点	適切な管理・運営がなされていた。管理目標については、利用料金収入のみ目標値の98.8%に止まったものの、概ね目標を達成した。平成30年度末で解散した「けやき文化財団」は、平成18年度から3期に渡り指定管理者として安定的にさいたま文学館を運営した。平成28年度から3年連続で利用者数が過去最高を更新したことは、同財団が広報やサービス向上に努めた成果であり、大いに評価したい。
	次年度に向けて 改善が望まれる点	